

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	技術・家庭科		
教科	技術分野	単位数2単位	学年・コース・組
使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野(東京書籍)		
副教材等			

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	情報の技術 ・情報技術の原理・法則と仕組み		10月	・安全に利用するための情報セキュリティ	
5月	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決		11月	生物育成の技術 ・生物育成の技術の原理・法則と仕組み	
6月			12月	・生物育成の技術による問題解決	第2学期期末考査
7月	・社会の発展と情報の技術	第1学期期末考査	1月	材料と加工の技術 ・材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ・材料と加工に技術による問題解決	
8月			2月	・ウッドラックの製作	
9月	情報の技術 ・安全に利用するための情報モラル		3月		第3学期期末考査

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とし

主体的・対話的に活動しているか、またワークシートや作品等の提出を含めて評価する。
定期考査は年3回実施。実習(提出物含む)評価・出席、授業態度、取り組む姿勢の評価・定期考査評価

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します